



POWERED MIXER

# EMX7

## 取扱説明書 (保証書付)

目次



P7

「早く使いたい！」



P8～11  
クイックスタートガイド

「故障かな？」



P21  
困ったときは？





## CAUTION

RISK OF ELECTRIC SHOCK  
DO NOT OPEN



**CAUTION:**  
TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT REMOVE COVER (OR BACK).  
NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE.  
REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.

The above warning is located on the rear of the unit.  
L'avertissement ci-dessus est situé sur l'arrière de l'unité.

## IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

- 1 Read these instructions.
- 2 Keep these instructions.
- 3 Heed all warnings.
- 4 Follow all instructions.
- 5 Do not use this apparatus near water.
- 6 Clean only with dry cloth.
- 7 Do not block any ventilation openings. Install in accordance with the manufacturer's instructions.
- 8 Do not install near any heat sources such as radiators, heat registers, stoves, or other apparatus (including amplifiers) that produce heat.
- 9 Do not defeat the safety purpose of the polarized or grounding-type plug. A polarized plug has two blades with one wider than the other. A grounding type plug has two blades and a third grounding prong. The wide blade or the third prong are provided for your safety. If the provided plug does not fit into your outlet, consult an electrician for replacement of the obsolete outlet.
- 10 Protect the power cord from being walked on or pinched particularly at plugs, convenience receptacles, and the point where they exit from the apparatus.
- 11 Only use attachments/accessories specified by the manufacturer.
- 12 Use only with the cart, stand, tripod, bracket, or table specified by the manufacturer, or sold with the apparatus. When a cart is used, use caution when moving the cart/apparatus combination to avoid injury from tip-over.
- 13 Unplug this apparatus during lightning storms or when unused for long periods of time.
- 14 Refer all servicing to qualified service personnel. Servicing is required when the apparatus has been damaged in any way, such as power-supply cord or plug is damaged, liquid has been spilled or objects have fallen into the apparatus, the apparatus has been exposed to rain or moisture, does not operate normally, or has been dropped.



### WARNING

TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK, DO NOT EXPOSE THIS APPARATUS TO RAIN OR MOISTURE.

(UL60065\_03)

## Explanation of Graphical Symbols Explication des symboles



The lightning flash with arrowhead symbol within an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of uninsulated "dangerous voltage" within the product's enclosure that may be of sufficient magnitude to constitute a risk of electric shock to persons.

L'éclair avec une flèche à l'intérieur d'un triangle équilatéral est destiné à attirer l'attention de l'utilisateur sur la présence d'une « tension dangereuse » non isolée à l'intérieur de l'appareil, pouvant être suffisamment élevée pour constituer un risque d'électrocution.



The exclamation point within an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the product.

Le point d'exclamation à l'intérieur d'un triangle équilatéral est destiné à attirer l'attention de l'utilisateur sur la présence d'instructions importantes sur l'emploi ou la maintenance (réparation) de l'appareil dans la documentation fournie.

## PRÉCAUTIONS CONCERNANT LA SÉCURITÉ

- 1 Lire ces instructions.
- 2 Conserver ces instructions.
- 3 Tenir compte de tous les avertissements.
- 4 Suivre toutes les instructions.
- 5 Ne pas utiliser ce produit à proximité d'eau.
- 6 Nettoyer uniquement avec un chiffon propre et sec.
- 7 Ne pas bloquer les orifices de ventilation. Installer l'appareil conformément aux instructions du fabricant.
- 8 Ne pas installer l'appareil à proximité d'une source de chaleur comme un radiateur, une bouche de chaleur, un poêle ou tout autre appareil (y compris un amplificateur) produisant de la chaleur.
- 9 Ne pas modifier le système de sécurité de la fiche polarisée ou de la fiche de terre. Une fiche polarisée dispose de deux broches dont une est plus large que l'autre. Une fiche de terre dispose de deux broches et d'une troisième pour le raccordement à la terre. Cette broche plus large ou cette troisième broche est destinée à assurer la sécurité de l'utilisateur. Si la fiche équipant l'appareil n'est pas compatible avec les prises de courant disponibles, faire remplacer les prises par un électricien.
- 10 Acheminer les cordons d'alimentation de sorte qu'ils ne soient pas piétinés ni coincés, en faisant tout spécialement attention aux fiches, prises de courant et au point de sortie de l'appareil.
- 11 Utiliser exclusivement les fixations et accessoires spécifiés par le fabricant.
- 12 Utiliser exclusivement le chariot, le stand, le trépied, le support ou la table recommandés par le fabricant ou vendus avec cet appareil. Si l'appareil est posé sur un chariot, déplacer le chariot avec précaution pour éviter tout risque de chute et de blessure.
- 13 Débrancher l'appareil en cas d'orage ou lorsqu'il doit rester hors service pendant une période prolongée.
- 14 Confier toute réparation à un personnel qualifié. Faire réparer l'appareil s'il a subi tout dommage, par exemple si la fiche ou le cordon d'alimentation est endommagé, si du liquide a coulé ou des objets sont tombés à l'intérieur de l'appareil, si l'appareil a été exposé à la pluie ou à de l'humidité, si l'appareil ne fonctionne pas normalement ou est tombé.



### AVERTISSEMENT

POUR RÉDUIRE LES RISQUES D'INCENDIE OU DE DÉCHARGE ÉLECTRIQUE, N'EXPOSEZ PAS CET APPAREIL À LA PLUIE OU À L'HUMIDITÉ.

(UL60065\_03)

# 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずよくお読みください。

## 必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 「警告」と「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。



**警告**

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



**注意**

「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

## 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号



- この製品の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。



**警告**

## 電源 / 電源コード



禁止

電源コードが破損するようなことをしない。

- ストーブなどの熱器具に近づけない
- 無理に曲げない
- 傷つけない
- 電源コードに重いものをのせない

感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源はこの機器に表示している電源電圧で使用する。

誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源コードは、必ず付属のものを使用する。また、付属の電源コードをほかの製品に使用しない。

故障、発熱、火災などの原因になります。

付属の電源コードは日本国内専用(125Vまで)です。



必ず実行

電源プラグや各端子にほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショート、火災のおそれがあります。



必ず実行

この機器を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。電源プラグに容易に手が届き、操作できるように設置してご使用ください。



必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

## 接続



必ず実行

• 接地接続は必ず、主電源プラグを主電源につなぐ前に行なう。

• 接地接続を外す場合は、必ず主電源プラグを主電源から切り離してから行なう。

電源コードには、アース線が付いています。必ずアース線を接地接続してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。確実に接地接続しないと、感電や火災、または故障の原因になります。

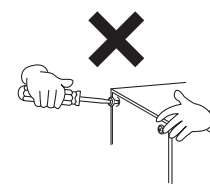
## 分解禁止



禁止

この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。



## 水に注意



禁止

- この機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。

## 聴覚障害



禁止

イコライザーやレベルのコントロールをすべて最大にしない。

接続した機器の状態によっては、フィードバックが起きて聴覚障害やスピーカーの損傷になることがあります。



禁止

大きな音量で長時間スピーカーを使用しない。

聴覚障害の原因になります。



必ず実行

オーディオシステムの電源を入れるときは、この機器をいつも最後に入れる。電源を切るときは、この機器を最初に切る。

聴覚障害やスピーカーの損傷の原因になることがあります。

## 火に注意



禁止

この機器の近くで、火気を使用しない。  
火災の原因になります。

## 異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 電源コード/プラグがいたんだ場合
- 製品から異常なおいや煙が出た場合
- 製品の内部に異物が入った場合
- 使用中に音が出なくなった場合
- 製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。



必ず実行

この機器を落とすなどして破損した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



注意

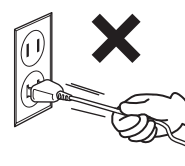
## 電源 / 電源コード



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



## 設置



禁止

不安定な場所に置かない。

この機器が転倒して故障したり、けがをしたりする原因になります。



禁止

この機器の通風孔(放熱用スリット)をふさがない。

内部の温度上昇を防ぐため、この機器の側面には通風孔があります。機器内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。



禁止

この機器を使用する際は、

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたんやカーペットなどの上には設置しない。
- 風通しの悪い狭いところへは押し込まない。

機器内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。EIA 標準のラック以外にこの機器を入れる場合は、この機器の周囲に上30cm、左右30cm、背面30cm以上のスペースを確保してください。



禁止

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。

故障の原因になります。



必ず実行

この機器を移動するときは、必ず接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この機器をEIA標準ラックにマウントする場合は、24ページの「ラックマウント時の注意」をよく読んでから設置する。

放熱が不十分だと機器内部に熱がこもり、火災や故障、誤動作の原因になることがあります。

## 接続



禁止

コネクターのハンドル部(ハウジング)に金属が露出したスピーカーケーブルを使用しない。

電位差によって感電するおそれがあります。ハンドル部が非金属製のもの、もしくはハンドル部に絶縁処理がされているものをお使いください。



必ず実行

• ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行なう。

• 電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量(ボリューム)を最小にする。

感電または機器の損傷の原因になることがあります。



必ず実行

スピーカーの接続には、スピーカー接続専用のケーブルを使用する。

それ以外のケーブルを使うと、火災の原因になることがあります。

## 手入れ



必ず実行

この機器の手入れをするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電の原因になることがあります。

## 取り扱い



禁止

この機器の通風孔/パネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた上でお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

• この機器の上にのったり重いものをのせたりしない。

• ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

この機器が破損したり、けがをしたりする原因になります。

## 注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

### ■ 製品の取り扱い/お手入れに関する注意

- テレビやラジオ、AV機器、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。この機器またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。
- 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなると、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- この機器上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。この機器のパネルが変色/変質する原因になります。
- マイクなどの入力ケーブルとマイクアンプのような高感度の回路は、スピーカーケーブルから離して設置してください。また、電源コードはスピーカーケーブルから1cm以上離して設置してください。スピーカーケーブルには大きな電流が流れるため、音響ノイズや電磁妨害の原因になります。
- 手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。
- 機器の周囲温度が極端に変化して(機器の移動時や急激な冷暖房下など)、機器が結露しているおそれがある場合は、電源を入れずに数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。結露した状態で使用すると故障の原因になることがあります。
- この機器の出力はスピーカー再生以外の用途には使用しないでください。故障の原因になることがあります。
- 使用後は、必ず電源をオフにしましょう。

### ■ コネクターに関する注意

- XLRタイプコネクターのピン配列は、以下のとおりです(IEC60268規格に基づいています)。  
1: グラウンド(GND)、2: ホット(+), 3: コールド(-)
- やむをえず本機のバランス(平衡)出力をアンバランス(不平衡)機器に接続する場合は、グラウンド電位の違いにより機器の故障の原因となる可能性がありますので、各機器間のグラウンド電位を合わせて使用してください。アンバランス(不平衡)機器接続ケーブルの配線はピン3: コールドとピン1: グラウンドを接続してお使いください。
- スピコン型コネクターの接続には、Neutrik NL4プラグのスピーカーケーブルをお使いください。

## お知らせ

### ■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- この製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

### ■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。
- 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ソフトウェアは改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。
- 本文中のNOTEは、知っておくと便利な内容について記載しています。

### ■ 廃棄に関するお知らせ

- 本製品は、リサイクル可能な部品を含んでいます。廃棄される際には、廃棄する地方自治体にお問い合わせください。

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品のリアパネルにある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号



このたびは、ヤマハパワードミキサー EMX7をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。この製品は、バンドによる生演奏やイベントなど、複数の音源ソースをミキシングするためのパワードミキサーです。この取扱説明書では、ミキサーの取り扱いに不慣れな方が設置や設定するときの接続方法、操作方法などを説明しています。この製品のさまざまな機能を十分にご活用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みになったあとも、大切に保管してください。

## 目次

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 主な特長                        | 7  |
| 付属品                         | 7  |
| クイックスタートガイド                 | 8  |
| スピーカーから音を出す/接続例             | 8  |
| コンプレッサーを使う                  | 10 |
| 内蔵エフェクトを使う                  | 11 |
| 各部の名称と機能                    | 12 |
| フロントパネル                     | 12 |
| リアパネル                       | 14 |
| 各画面の表示方法                    | 15 |
| スピーカープロセッサー                 | 16 |
| スピーカープロセッサーのプログラムを選択する      | 16 |
| ベースブーストをオン/オフする             | 16 |
| システムセットアップ                  | 17 |
| アンプモードを選択する                 | 17 |
| LCDコントラストを設定する              | 17 |
| LCDバックライトを設定する              | 18 |
| グラフィックイコライザー (GEQ)          | 19 |
| 周波数とゲインを設定する                | 19 |
| グラフィックイコライザー (GEQ) をオン/オフする | 20 |
| 困ったときは？                     | 21 |
| 資料                          | 22 |
| スピーカーの接続                    | 22 |
| 縦置き/平置き/設置                  | 23 |
| ラックマウント                     | 24 |
| エフェクトプログラム一覧                | 25 |
| 端子とプラグ一覧                    | 26 |
| 寸法図                         | 26 |
| 一般仕様                        | 27 |
| 索引                          | 28 |
| アフターサービス                    | 29 |
| 保証書                         | 30 |

## 主な特長

### 充実の入力チャンネル

4つのモノラル入力チャンネル(チャンネル1～4)と4つのモノラル/ステレオ入力チャンネル(チャンネル5/6～11/12)があり、最大8本のマイクを接続できます。また、各チャンネルには電子キーボードやCDプレーヤーなどラインレベルの機器を接続することもできます。さらに、チャンネル4はギターやベースを直接接続できるHi-Z入力に対応しています。

### コンプレッサー

MGPシリーズやMGシリーズで好評の1-knob COMPを搭載しています。たった1つのコントロールを操作するだけでボーカルから楽器まで最適なコンプレッション効果を得られます。

### 豊富なエフェクト/プロセッサー

強力なDSPを搭載することにより、以下の豊富なエフェクト/プロセッサーを実現しています。

- ・業務用として定評のあるSPXシリーズと同クラスの24種類のエフェクト(11ページ参照)
- ・自動的にハウリングを押さえるフィードバックサプレッサー (13ページ ㉔参照)
- ・調整する周波数を31バンドの中から9バンドまで選んで、細かく調整することができるフレックスタイプのグラフィックイコライザー (Flex9GEQ)(19ページ参照)
- ・接続するスピーカーの性能を最大限に発揮するスピーカープロセッサー (16ページ参照)

### 高効率のClass-Dアンプ搭載

高効率のパワーアンプを内蔵しており、少ない消費電力で大きな音を出すことができると同時に軽量化も実現しました。また、保護機能を搭載しており、信頼性も向上しています。

### ラックマウント

別売のRK-EMX7(ラックマウント金具)を使用すると、本体を19インチラックに設置することができます。

### 付属品(お確かめください)

- ・電源コード(2芯+絶縁保護カバー付きアース線)(2.5m)

#### ⚠ 警告

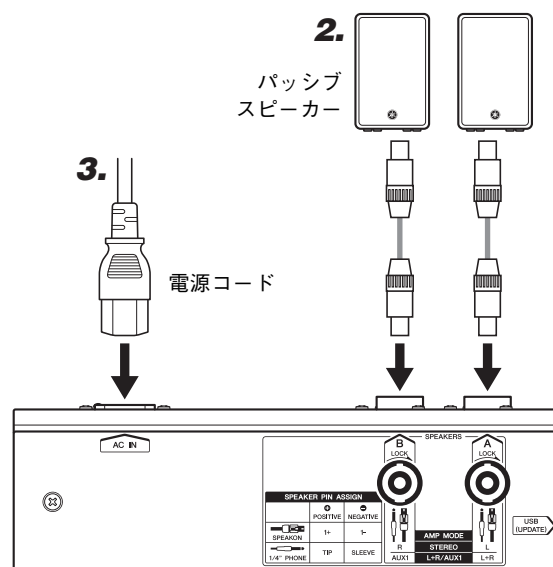
必ず付属のものをお使いください。他の電源コードを使用すると、発熱や感電の原因になります。

付属の電源コードは日本国内専用(125Vまで)です。

- ・Technical Specifications(英語)：一般仕様、入出力仕様、ブロック図が記載されています。
- ・取扱説明書(本書)：保証書は30ページにあります。

# クイックスタートガイド

## スピーカーから音を出す / 接続例



リアパネル (14ページ参照)

### ⚠ 警告

EMX7は、アース接続を行なうことを前提として設計されています。感電と機器の損傷を防ぐため、付属の電源コードを使ってアース接続を確実に行ってください。

### 注記

電源コードとスピーカーケーブルを束ねて使用しないでください。スピーカーケーブルには大きな電流が流れるため、音響ノイズや電磁妨害の原因になります。

**1.** すべてのスイッチ ( [ ] ) (電源) スイッチを含む) をオフ ( [ ] ) にします。

**2.** 機器を接続します。

(右図の接続例、左図参照)

#### ■ スピーカー接続時の注意

- [SPEAKERS A/B] 端子それぞれに、パッシブスピーカー (=内蔵アンプなし) を1台ずつ接続してください。[SPEAKERS A/B] 端子両方からの信号を、1台のスピーカーに入力すると、故障の原因になることがあります。
- スピーカーケーブルは奥までしっかり差し込んでください。スピコンプラグの場合は、奥までしっかり差し込んでから回してロックしてください。
- スピーカーケーブルはコネクタのハンドル部 (ハウジング) が絶縁されたものをお使いください。
- スピーカーの接続について詳しくは、22ページをご覧ください。

**3.** 電源コードを接続します。

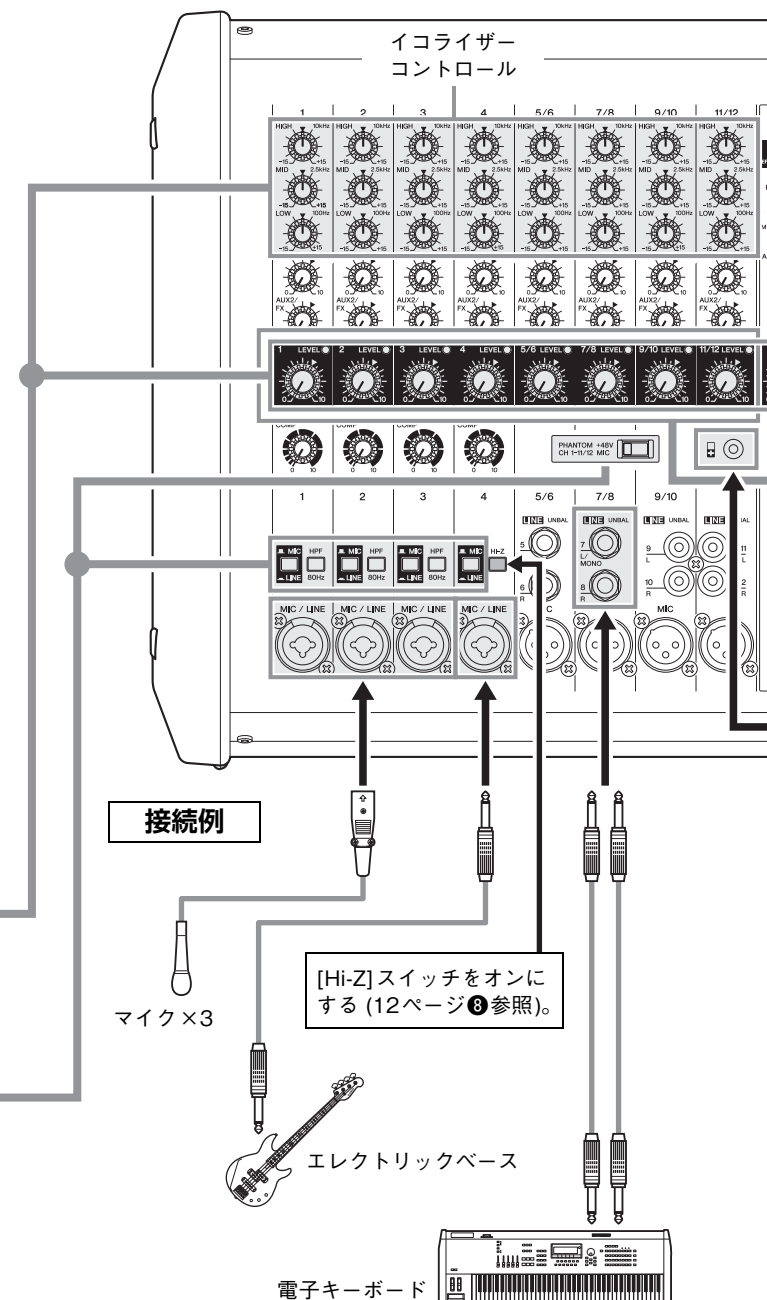
順序: 本体 [AC IN] 端子 → コンセント

#### NOTE

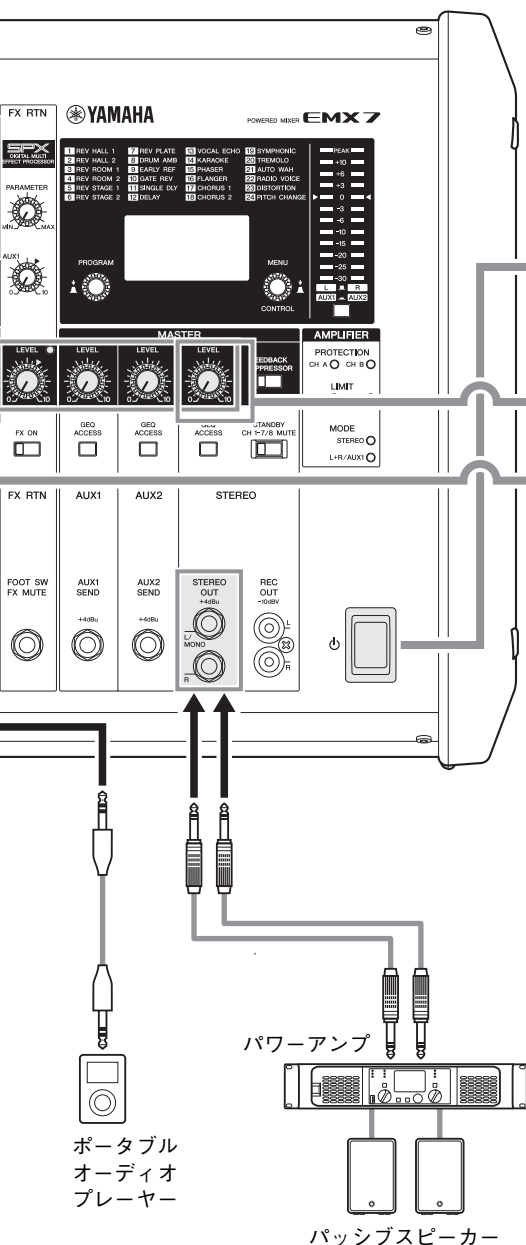
電源コードを外すときは、逆の手順 (コンセント → 本体 [AC IN] 端子) で行なってください。

**4.** すべての [LEVEL] コントロール / MASTER [LEVEL] コントロールを「0」に、イコライザーコントロールを「▼」に設定します。

**5.** マイクを接続したチャンネルを「 [ ] MIC」、楽器、オーディオ機器を接続したチャンネルを「 [ ] LINE」に設定します。コンデンサーマイクを接続した場合は [PHANTOM +48V] スイッチをオン ( [ ] ) にします。





**NOTE**

通常スピーカーは、リアパネルの[SPEAKERS A/B]端子に接続します。ただし、より大きな出力が必要なときや、スピーカーを増設するときは、[STEREO OUT]端子をパワーアンプと接続して、パワーアンプ経由でスピーカーから出力します。

**6. 電源をオンにします。**

順序：楽器やオーディオ機器→本体の[](電源)スイッチ

**⚠ 警告**

電源をオフにするときは、スピーカーから大きなノイズが出ないようにするため、本体の[](電源)スイッチ→楽器やオーディオ機器の順で電源をオフにしてください。

**7. 機器を接続したチャンネルの[LEVEL]コントロールを「▼」に設定します。****8. STEREO MASTER [LEVEL]コントロールで全体の音量を調節します。****9. 必要に応じて、接続した機器の音量バランスをチャンネル1～11/12の[LEVEL]コントロールで調節します。****音量が大きすぎたり、小さすぎたりするときは？****●音量が大きすぎるとき**

いったん[LEVEL]コントロールを「0」に下げます。[] MIC / [] LINE]スイッチを「] LINE」に切り替えてから、徐々に[LEVEL]コントロールを上げて音量を調節します。

**●音量が小さすぎるとき**

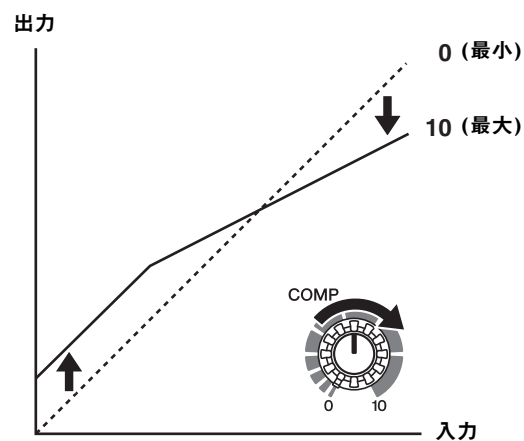
いったん[LEVEL]コントロールを「0」に下げます。[] MIC / [] LINE]スイッチを「] MIC」に切り替えてから、徐々に[LEVEL]コントロールを上げて音量を調節します。

## コンプレッサーを使う

ボーカルにコンプレッサーをかけると、サビなど強く歌っている部分は音量を抑えたり、弱く歌っている部分は音量を持ち上げたりするため、全体的に音が均等に聞こえるようになります。また、一つ一つの音がはっきりするので、歌詞も聴き取りやすくなります。

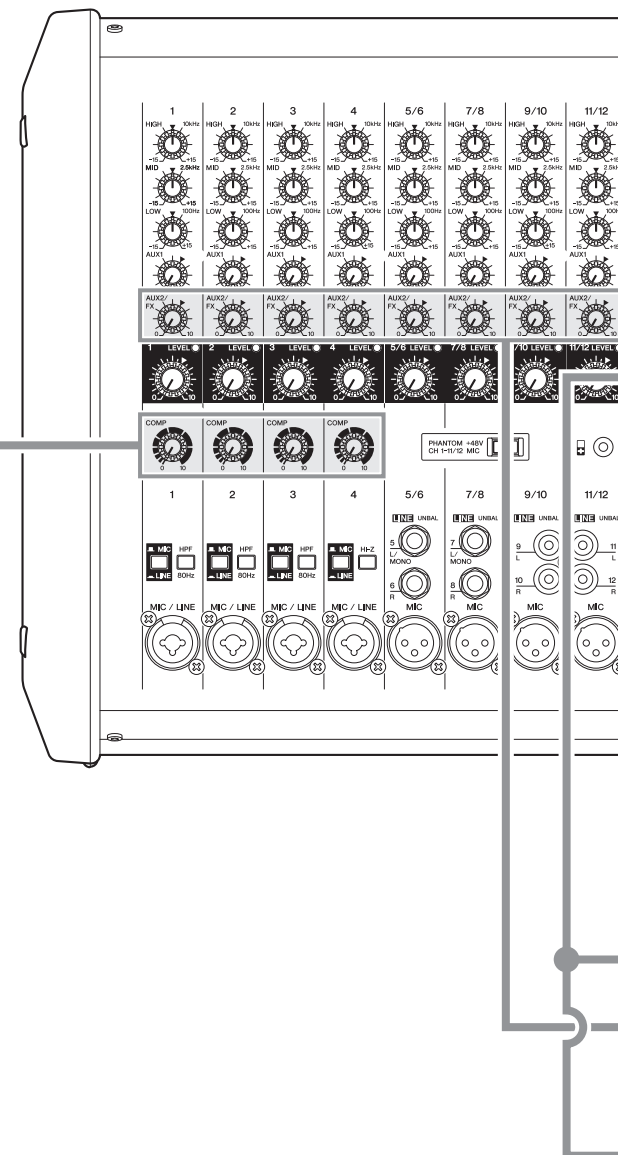
### 1. コンプレッサーをかけたいチャンネルの[COMP]コントロールでかかり具合を調節します。

右に回すとコンプレッサーが強くなります。コンプレッサーをかけすぎるとハウリングしやすくなりますので、少し抑えて設定しましょう。



### 実際の使用例

ボーカルのほか、ギター、ベースギター、ドラムなど



## 内蔵エフェクトを使う

コンサートホールやライブハウスで演奏しているような臨場感や、特殊な音響効果を得ることができます。

### 1. HOME画面を表示します。

[(電源)スイッチをオン()にすると、HOME画面(右図参照)が表示されます。その他の画面が表示されている場合は、[PROGRAM]エンコーダーを操作すると表示されます。

プログラム番号

24

プログラムタイトル

PITCH CHANGE

### 2. [PROGRAM] エンコーダーでエフェクトを選びます。

- ① [PROGRAM]エンコーダーを回してプログラムを選択します。
- ② [PROGRAM]エンコーダーを押して選択を確定します。

#### NOTE

- ・ [PROGRAM]エンコーダーを押しながら回して、プログラムを選択、確定することもできます。
- ・ プログラムを確定しない状態でしばらく操作しなかった場合は、元のプログラムに自動的に戻ります。
- ・ 選択可能なエフェクトについて詳しくは、25ページ「エフェクトプログラム一覧」をご覧ください。

### 3. FX RTN [FX ON] スwitchをオン()にします。

オンにすると、スイッチが点灯します。別売のフットスイッチFC5などを[FOOT SW]端子に接続すると、内蔵エフェクトのミュートのオン/オフを足元で切り替えることができます。

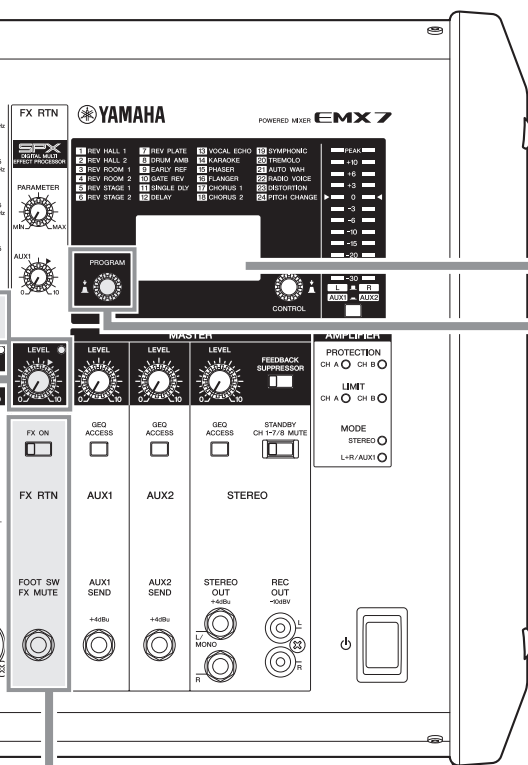
### 4. FX RTN [LEVEL] コントロールを「▼」に設定します。

### 5. エフェクトをかけたいチャンネルの[AUX2/FX]センドコントロールでエフェクトのかかり具合を調節します。

### 6. FX RTN [LEVEL] コントロールで全体のかかり具合を調節します。

#### NOTE

リバーブタイムやディレイタイムなどのエフェクトのパラメーターを変更したい場合は、FX RTN [PARAMETER]コントロール(12ページ⑫参照)で調節します。FX RTN [PARAMETER]コントロールで調節できる各エフェクトのパラメーターは、25ページ「エフェクトプログラム一覧」をご覧ください。



# 各部の名称と機能

## フロントパネル

### ① イコライザーコントロール [HIGH]/[MID]/[LOW]

高域 [HIGH]、中域 [MID]、低域 [LOW] の音質を調節します。コントロールを右に回すとその周波数帯域が増幅 (ブースト) され、左に回すと減衰 (カット) されます。コントロールを「▼」の位置にするとフラットな特性となります。

### ② [AUX1] センドコントロール (チャンネル 1 ~ 11/12) [AUX2/FX] センドコントロール (チャンネル 1 ~ 11/12)

各チャンネルから AUX1 バス、AUX2/FX (内蔵エフェクト) バスに送られる信号のレベルをそれぞれ調節します。チャンネル 5/6 ~ 11/12 の場合は、LINE L (奇数チャンネル) と LINE R (偶数チャンネル) の信号がミックスされて AUX1 バス、AUX2/FX バスへ送られます。コントロールの「▼」 (ノミナル) の位置を目安に調節してください。

#### NOTE

[AUX1] センドコントロールは [LEVEL] コントロールの影響を受けない PRE 設定で、[AUX2/FX] センドコントロールは [LEVEL] コントロールの影響を受ける POST 設定です。

### ③ [LEVEL] コントロール (チャンネル 1 ~ 11/12) シグナルインジケータ (チャンネル 1 ~ 11/12)

各チャンネルの音量を調節します。各チャンネルに信号が入力されるとシグナルインジケータが点灯します。ノイズを減らすために、使わないチャンネルのコントロールは最小「0」にしておいてください。

### ④ [COMP] コントロール

コンプレッサーのかかり具合を調節します。[COMP] コントロールを右に回すと、スレッシュホールド、レシオ、出力レベルが同時に調節されます。

#### NOTE

[COMP] コントロールのレベルを上げすぎると、出力レベルが上がるためハウリングしやすくなります。少し抑えて設定してください。

### ⑤ [PHANTOM +48V] スイッチ

スイッチをオン (▲) にすると、XLR 入力端子 (チャンネル 1 ~ 11/12) に一括して DC+48V のファンタム電源が供給されます。コンデンサーマイクや DI (ダイレクトボックス) に電源供給するときは、このスイッチをオンにしてください。オンのときにスイッチが点灯します。

#### 注記

本体および外部機器の故障やノイズを防ぐために、以下の点にご注意ください。

- ・ファンタム電源が不要なときや、ファンタム電源非対応の機器を接続するときは、スイッチをオフにする、またはフォーン (チャンネル 1 ~ 7/8) / RCA ピン (9/10、11/12) / ステレオミニ (11/12) プラグで接続をする。
- ・スイッチをオンにしたまま、ケーブルの抜き差しをしない。
- ・AUX1、AUX2、STEREO の MASTER [LEVEL] コントロール⑫を最小にしたら、スイッチをオン/オフする。

### ⑥ [MIC / LINE] スイッチ (チャンネル 1 ~ 4)

マイクなど入力信号のレベルが低い機器を接続したチャンネルは「MIC」にします。電子楽器やオーディオ機器など入力信号のレベルが高い機器を接続したチャンネルは「LINE」にします。

### ⑦ [HPF] (ハイパスフィルター) スイッチ (チャンネル 1 ~ 3)

スイッチをオン (▲) にするとハイパスフィルターがかかり、80Hz 以下の信号レベルを 12dB/oct. のスロープで減衰させます。マイクが拾った振動や風切り音を軽減するため、マイクで人の声を入力するときは通常オンにします。

### ⑧ [HI-Z] スイッチ (チャンネル 4)

電池を使わないエレクトリックアコースティックギターやエレクトリックベースなどの、パッシブピックアップの楽器を接続するときにスイッチをオン (▲) にすると、DI (ダイレクトボックス) なしで直接本体に接続できます。この機能はフーンでの入力時のみ有効です。

### ⑨ [MIC/LINE] 入力端子 (チャンネル 1 ~ 4)

マイク、ギター、電子楽器、オーディオ機器などを接続します。XLR、フーンの両プラグに対応しています。



XLR



フーン

### ⑩ [MIC] 入力端子 (チャンネル 5/6、7/8、9/10、11/12)

XLR タイプのバランス型マイク入力端子です。

### ⑪ [LINE] 入力端子 (チャンネル 5/6、7/8、9/10、11/12)

電子楽器、エレクトリックアコースティックギター、CD プレーヤー、ポータブルオーディオプレーヤーなどラインレベルの機器を接続します。TS フーン、RCA ピン、ステレオミニのプラグに対応しています。[L/MONO] 端子だけを使うと、ステレオチャンネル L (左) と R (右) の両方に同じ音が出ます。

- ・チャンネル 5/6、7/8 : TS フーン
- ・チャンネル 9/10 : RCA ピン
- ・チャンネル 11/12 : RCA ピン、ステレオミニ



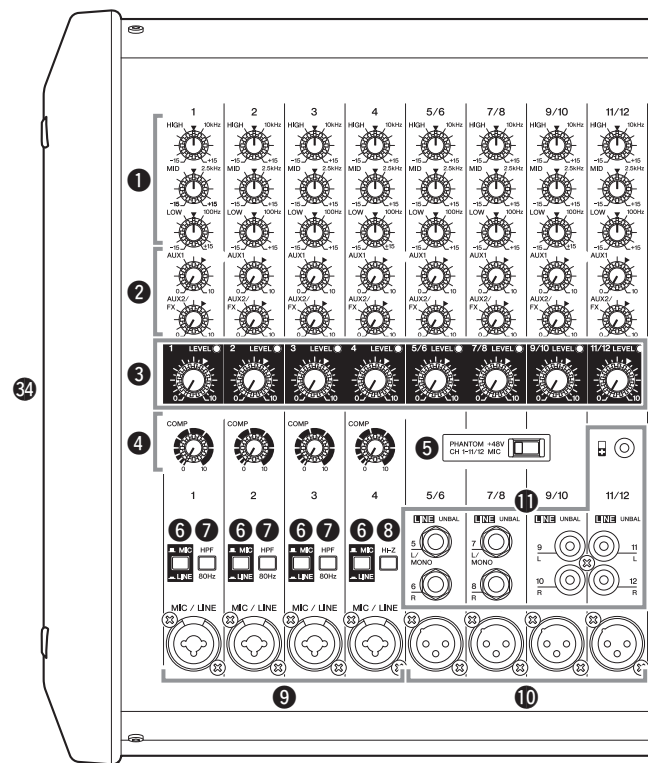
RCA ピン



ステレオミニ

#### NOTE

1 つのチャンネルで [MIC] 入力端子、[LINE] 入力端子を同時に使用することはできませんが、個別にレベルを調節できません。チャンネル 11/12 の [LINE] 入力端子では、ステレオミニ端子が優先されます。



### ⑫ FX RTN (エフェクトリターン) [PARAMETER] コントロール

選択したエフェクトプログラムのパラメーター (エフェクトの効き具合や変化の速さなど) を調節します。パラメーターの値は、エフェクトのプログラムごとに保存されます。

#### NOTE

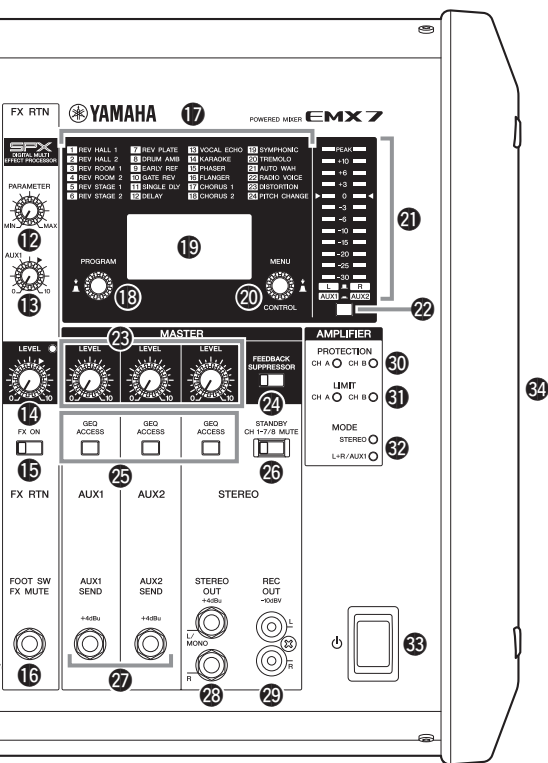
エフェクトプログラムを切り替えたときは、FX RTN [PARAMETER] コントロールの位置に関係なく、前回そのエフェクトで設定した値が有効になります。

### ⑬ FX RTN [AUX1] センドコントロール

内蔵エフェクトから AUX1 バスに出力される信号のレベルを調節します。

#### NOTE

AUX1 バスに出力される信号は FX RTN [LEVEL] コントロールの影響を受けません。



#### 14 FX RTN [LEVEL]コントロール シグナルインジケータ

内蔵エフェクトからSTEREO L/Rバスに送られるエフェクト音のレベルを調節します。内蔵エフェクトからの信号が入力されるとシグナルインジケータが点灯します。

#### 15 FX RTN [FX ON]スイッチ

内蔵エフェクトのオン/オフを切り替えます。オン(■)のときにスイッチが点灯します。

#### NOTE

オンのときにフットスイッチ(FX RTN [FOOT SW]端子①⑥参照)で内蔵エフェクトをミュートにすると、スイッチが点滅します。

#### 16 FX RTN [FOOT SW](フットスイッチ)端子

フットスイッチ(ヤマハFC5などのアンラッチタイプ)を接続します。足元でエフェクトをミュートできますので、ワンマンパフォーマンスのときに便利です。

#### 17 エフェクトプログラムリスト

内蔵エフェクトプログラムのリストです。プログラムについて詳しくは、25ページ「エフェクトプログラム一覧」をご覧ください。

#### 18 [PROGRAM]エンコーダー

内蔵エフェクトのプログラムを24種類から選択できます。エンコーダーを回して目的のプログラムを選択し、エンコーダーを押して確定します。

#### NOTE

エンコーダーを押しながら回して目的のプログラムを選択することもできます。

#### 19 ディスプレイ

使用中のプログラムや、各種機能の設定画面を表示します。

#### 20 [MENU/CONTROL]エンコーダー

スピーカープロセッサ画面、システムセットアップ画面を操作/設定したり、グラフィックイコライザーを設定したりします。エンコーダーを回して設定対象を選択し、エンコーダーを押して確定します。

#### 21 レベルメーター

STEREO L/R、AUX1、AUX2の信号レベルをLEDで表示します。「0」(◀)の位置が規定出力レベルを示し、クリッピングレベルに近づくともレベルメーターの「PEAK」が点灯します。

#### 22 レベルメーター切り替えスイッチ

レベルメーターに送る信号を設定します。このスイッチで、STEREO L/Rバス、AUX1バス、AUX2バスのいずれかの信号に設定できます。

#### 23 AUX1 MASTER [LEVEL]コントロール AUX2 MASTER [LEVEL]コントロール STEREO MASTER [LEVEL]コントロール

AUX1、AUX2、STEREO L/Rに出力される信号のレベルをそれぞれ調節します。

#### 24 [FEEDBACK SUPPRESSOR](フィードバックサプレッサー)スイッチ

オン(■)にするとスイッチが点灯し、ハウリング(フィードバック)を自動的に抑えることができます。(7バンドのノッチフィルターが動作します。このスイッチまたは[⏻](電源)スイッチをオフにすると、ノッチフィルターはリセットされます。)

#### 25 [GEQ ACCESS]ボタン

グラフィックイコライザー(GEQ)の設定画面を呼び出します。呼び出したいチャンネル(AUX1、AUX2、STEREO)の[GEQ ACCESS]ボタンを押します(他のスイッチとは異なり、このボタンはロックしません)。

#### 26 [STANDBY]スイッチ

オン(■)にするとスイッチが点灯し、チャンネル1～7/8の入力を一括してミュート(消音)します。ただし、チャンネル9/10、11/12はミュートされませんので、演奏の合間のBGMなどに活用できます。

#### 27 [AUX1 SEND]端子 [AUX2 SEND]端子

演奏者用のモニターシステムや外部エフェクターなどを接続します。TRS フォーンタイプのインピーダンスバランス型端子です(26ページ「端子とプラグ一覧」参照)。

#### 28 [STEREO OUT]端子

ミックスされた信号をステレオ出力するTRS フォーンタイプのインピーダンスバランス型出力端子です。STEREO MASTER [LEVEL]コントロールでレベル調節された信号が出力されます。[L/MONO]端子だけをを使うと、チャンネルL(左)とR(右)がミックスされた音が出ます。

#### 29 [REC OUT]端子

RCA ピンタイプのアンバランス型出力端子です。外部のレコーダーを接続します。この端子から出力される信号は、STEREO MASTER [LEVEL]コントロールとグラフィックイコライザー設定の影響を受けません。録音レベルの調整はレコーダー側で行なってください。

#### 30 AMPLIFIER [PROTECTION]インジケータ

アンプ保護が動作しているときに点灯します。[SPEAKERS A]端子に送られる信号では「CH A」、[SPEAKERS B]端子に送られる信号では「CH B」のインジケータがそれぞれ点灯します。

#### 31 AMPLIFIER [LIMIT]インジケータ

DSPのアンプ保護リミッターが動作しているときに点灯します。[SPEAKERS A]端子に送られる信号では「CH A」、[SPEAKERS B]端子に送られる信号では「CH B」のインジケータがそれぞれ点灯します。

#### 注記

このインジケータが長い間点滅し続けるほど大音量でお使いになると、内蔵のパワーアンプに過大な負担がかかり、故障の原因になります。信号の最大入力時に一瞬点灯する程度以下になるように、AUX1、STEREOのMASTER [LEVEL]コントロールで音量を下げてください。

#### 32 AMPLIFIER [MODE]インジケータ

[STEREO]と「L+R/AUX1」のうち、現在選択されているアンプモードを表示します。アンプモードの選択については、17ページをご覧ください。

#### 33 [⏻](電源)スイッチ

電源をオン(■)/オフ(■)します。

#### ⚠ 警告

[⏻](電源)スイッチがオフの状態でも微電流が流れています。長時間使用しないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

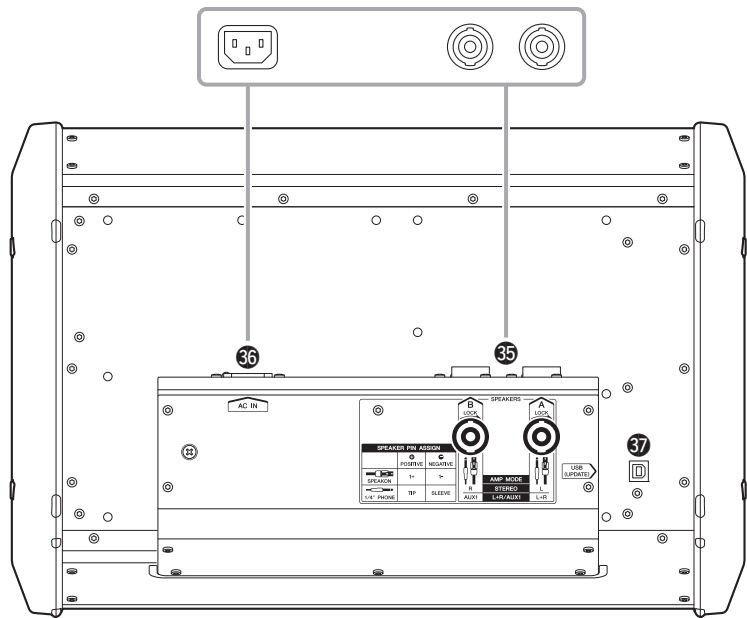
#### 注記

[⏻](電源)スイッチのオン/オフを連続して素早く切り替えると誤動作の原因になることがあります。[⏻](電源)スイッチをオフにしてから再度オンにする場合は、10秒以上の間隔を空けてください。

#### 34 通風孔

両側面に通風孔があり、排気側には冷却用ファンが装備されています。使用時は両側ともふさがないようにしてください。

リアパネル



**35 [SPEAKERS A/B] 端子**  
市販のスピーカーケーブルを使って、スピーカーと接続します。TS フォーン、スピコンの両プラグに対応しています。スピコンプラグのケーブルを接続する場合は、差し込んでから回してロックします。また、アンプモードの選択によって出力される信号が決まります。アンプモードの選択については、17ページをご覧ください。

| アンプモードの<br>選択 | [SPEAKERS A]端子 | [SPEAKERS B]端子 |
|---------------|----------------|----------------|
| STEREO        | STEREO Lの信号    | STEREO Rの信号    |
| L+R/AUX1      | L+Rの信号         | AUX1の信号        |

**36 [AC IN] 端子**  
付属の電源コードを接続します。まず本体と電源コードを接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。

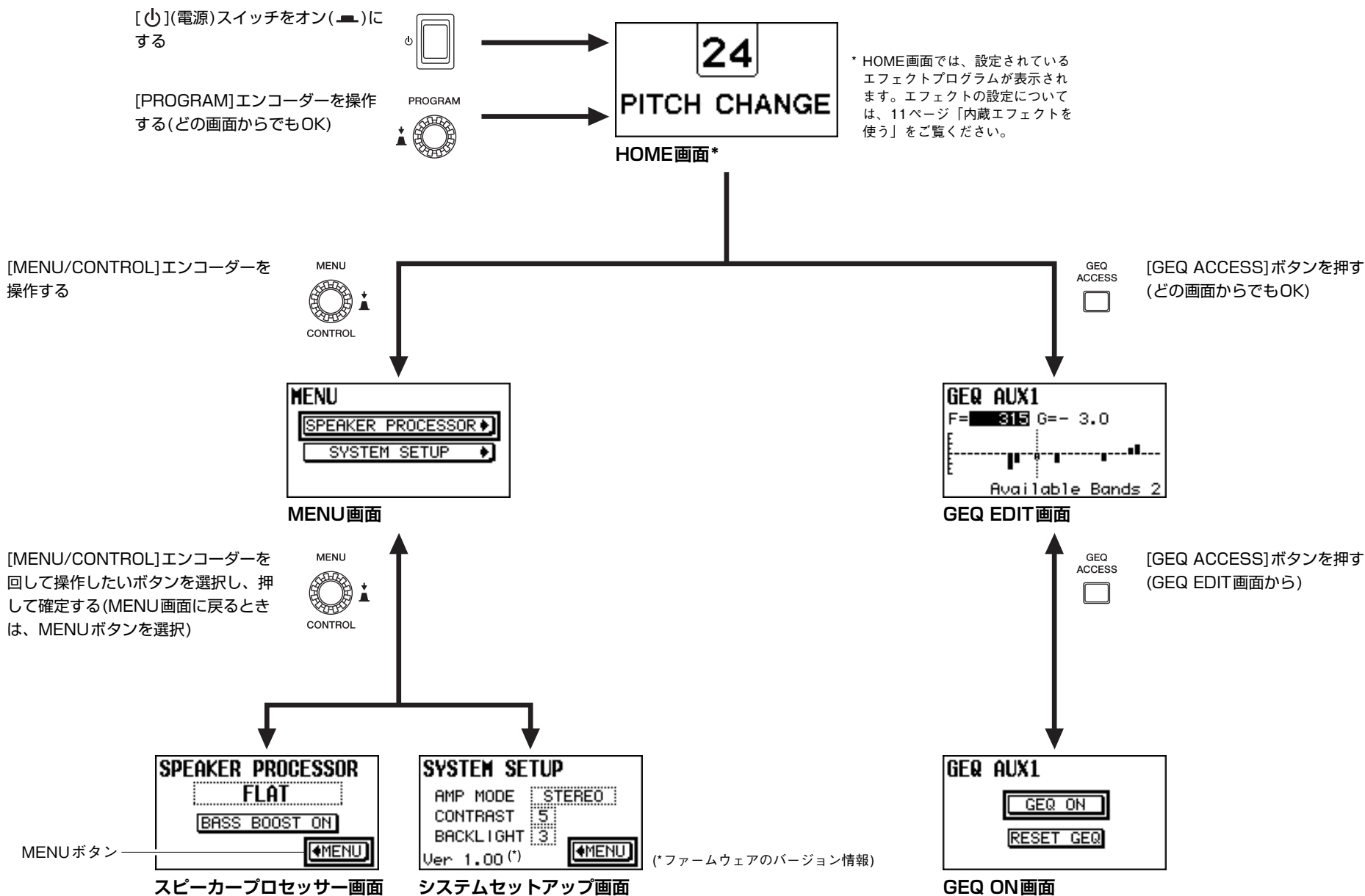
**⚠ 警告**  
電源コードは、必ず付属のものをお使いください。他の電源コードを使用すると、発熱や感電の原因になります。

**注記**  
電源コードとスピーカーケーブルを束ねて使用しないでください。スピーカーケーブルには大きな電流が流れるため、音響ノイズや電磁妨害の原因になります。

**37 [USB] 端子**  
メンテナンスで使用します。通常は使用しません。



# 各画面の表示方法



# スピーカープロセッサー

スピーカープロセッサー (SPEAKER PROCESSOR)機能には、接続するスピーカーのキャラクターに合わせて適切な音質に設定するプログラムが用意されています。また、迫力ある低音が得られるベースブースト(BASS BOOST)をオンに設定できます。

## スピーカープロセッサーのプログラムを選択する

1. SPEAKER PROCESSOR(スピーカープロセッサー)画面を表示します。(画面の表示方法については、15ページをご覧ください。)

スピーカープロセッサー画面



2. [MENU/CONTROL]エンコーダーを回して、カーソルをプログラムタイトルボックスの上に移動します。



プログラムタイトルボックス

### NOTE

プログラムタイトルボックスの初期設定はFLAT(オフの状態)です。

3. [MENU/CONTROL]エンコーダーを押すと、プログラムリストがポップアップします。

### NOTE

- しばらく操作されないと、プログラムリストは自動的に閉じます。
- プログラムタイトルはヤマハのスピーカー名などです。

4. [MENU/CONTROL]エンコーダーを回してプログラムを選択し、押して確定します。

### NOTE

- プログラムリストにないスピーカーを使用する場合は、FLATに設定するか、お好みで最適な音を得られるプログラムを選択してご使用ください。
- HOME画面に戻りたいときは、[PROGRAM]エンコーダーを操作してください。

## ベースブーストをオン/オフする

1. SPEAKER PROCESSOR(スピーカープロセッサー)画面を表示します。(画面の表示方法については、15ページをご覧ください。)

スピーカープロセッサー画面



2. [MENU/CONTROL]エンコーダーを回して、カーソルをBASS BOOST ONボタンの上に移動します。



BASS BOOST ONボタン

3. [MENU/CONTROL]エンコーダーを押して、ベースブーストのオン/オフを切り替えます。

オンの場合 **BASS BOOST ON** (反転表示)

オフの場合 **BASS BOOST ON**

### NOTE

HOME画面に戻りたいときは、[PROGRAM]エンコーダーを操作してください。

# システムセットアップ

## アンプモードを選択する

アンプモードは2種類あります。

### • STEREO :

SPEAKERS A/BチャンネルをL/Rで使用します。一般的なステレオ2チャンネルで出力します。

### • L+R/AUX1 :

SPEAKERS AチャンネルをL+Rのモノラルで、SPEAKERS BチャンネルをAUX1で使用します。L+Rをメインスピーカーに、AUX1を演奏者用のモニタースピーカーに出力します。

1. SYSTEM SETUP(システムセットアップ)画面を表示します。(画面の表示方法については、15ページをご覧ください。)

#### ⚠ 注意

アンプモードを選択するときは、AUX1、STEREOのMASTER [LEVEL]コントロールを「0」にしてください。アンプモードを切り替えたときに、[SPEAKERS A/B]端子から過大に出力されることを防止します。

システムセットアップ画面



2. [MENU/CONTROL]エンコーダーを回して、カーソルをAMP MODEのパラメーターボックスの上に移動します。

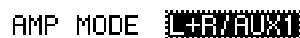
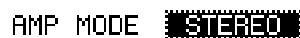


パラメーターボックス

3. [MENU/CONTROL]エンコーダーを押すと、パラメーターボックスは反転表示になります。



4. [MENU/CONTROL]エンコーダーを回して、AMP MODEを切り替えます。STEREOまたはL+R/AUX1から選択できます。



5. [MENU/CONTROL]エンコーダーを押して確定します。

フロントパネルのAMPLIFIER [MODE]インジケータでは、どちらのアンプモードが選択されているかを表示します(13ページ②参照)。

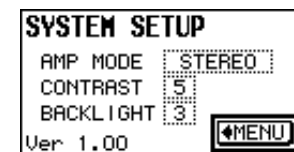
#### NOTE

HOME画面に戻りたいときは、[PROGRAM]エンコーダーを操作してください。

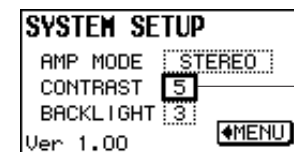
## LCDコントラストを設定する

1. SYSTEM SETUP(システムセットアップ)画面を表示します。(画面の表示方法については、15ページをご覧ください。)

システムセットアップ画面



2. [MENU/CONTROL]エンコーダーを回して、カーソルをCONTRASTのパラメーターボックスの上に移動します。



パラメーターボックス

3. [MENU/CONTROL]エンコーダーを押すと、パラメーターボックスは反転表示になります。



4. [MENU/CONTROL]エンコーダーを回して、CONTRASTのパラメーターを設定します。0～10の11段階で設定できます。

5. [MENU/CONTROL] エンコーダーを押して確定します。



**NOTE**

HOME画面に戻りたいときは、[PROGRAM]エンコーダーを操作してください。

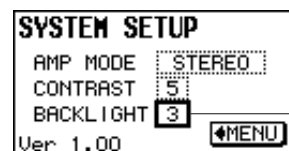
## LCDバックライトを設定する

1. SYSTEM SETUP(システムセットアップ)画面を表示します。(画面の表示方法については、15ページをご覧ください。)

システムセットアップ画面



2. [MENU/CONTROL] エンコーダーを回して、カーソルをBACKLIGHTのパラメーターボックスの上に移動します。



パラメーターボックス

3. [MENU/CONTROL] エンコーダーを押すと、パラメーターボックスは反転表示になります。



4. [MENU/CONTROL] エンコーダーを回して、BACKLIGHTのパラメーターを設定します。0～3の4段階で設定できます。

5. [MENU/CONTROL] エンコーダーを押して確定します。



**NOTE**

HOME画面に戻りたいときは、[PROGRAM]エンコーダーを操作してください。

# グラフィックイコライザー (GEQ)

EMX7のGEQはFlex(フレックス)9GEQです。  
Flex9GEQでは、31バンドの中から9バンドまで  
選択してゲインを調節できます。

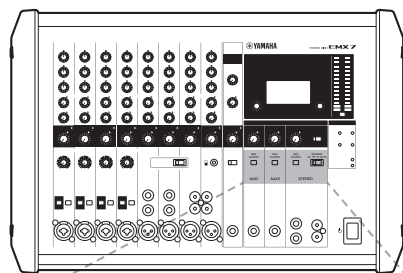
## 周波数とゲインを設定する

### 1. GEQ EDIT画面を表示します。

AUX1、AUX2、STEREOのうちGEQを操作したいチャンネルの[GEQ ACCESS] ボタンを押します。

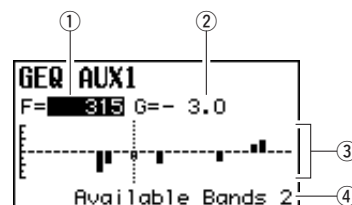
#### NOTE

他の画面が表示されている場合は、GEQ EDIT画面が表示されるまで[GEQ ACCESS] ボタンを押して画面を切り替えます。



[GEQ ACCESS] ボタン

GEQ EDIT画面



#### ① 周波数表示

選択されているバンドの周波数(単位: Hz)を表示します。

#### ② ゲイン表示

選択されているバンドのゲイン設定値(単位: dB)を表示します。

#### ③ グラフィック表示

設定の状態をグラフィック表示します。

#### ④ Available Bands(使用可能バンド数の表示)

EMX7のGEQはFlex9GEQであるため、あと何バンド使用できるかを表示します。

### 2. 周波数を選択します。

周波数表示が白黒反転しているときに、[MENU/CONTROL]エンコーダーを回し、ゲイン設定対象の周波数を切り替えます。

F= 315 G=- 3.0

#### NOTE

周波数表示が反転表示になっていないときは、[MENU/CONTROL]エンコーダーを押すと周波数選択操作に切り替わります。

### 3. ゲインを設定します。

[MENU/CONTROL]エンコーダーを押すと、設定対象が手順2で選択した周波数のゲインになります。

[MENU/CONTROL]エンコーダーを回して該当周波数のゲインを設定します。

F= 315 G=- 3.0

### 4. 必要に応じて手順2と3を繰り返し、GEQを設定します。

#### NOTE

HOME画面に戻りたいときは、[PROGRAM]エンコーダーを操作してください。

## ■選択した周波数のゲインをリセットする

[MENU/CONTROL]エンコーダーを2秒以上押すと、選択した周波数のゲインをリセットします。

#### NOTE

[MENU/CONTROL]エンコーダーの設定対象が周波数でもゲインでもリセットできます。

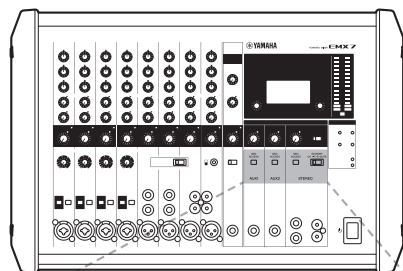
## グラフィックイコライザー (GEQ) をオン/オフする

### 1. GEQ ON画面を表示します。

AUX1、AUX2、STEREOのうちGEQを操作したいチャンネルの[GEQ ACCESS] ボタンを押します。

#### NOTE

他の画面が表示されている場合は、GEQ ON画面が表示されるまで[GEQ ACCESS]ボタンを押して画面を切り替えます。

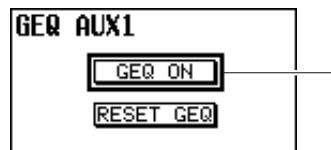


[GEQ ACCESS] ボタン

GEQ ON画面



### 2. [MENU/CONTROL] エンコーダーを回して、カーソルをGEQ ONボタンの上に移動します。



GEQ ON ボタン

### 3. [MENU/CONTROL] エンコーダーを押して、GEQ のオン/オフを切り替えます。

オンの場合 **GEQ ON** (反転表示)

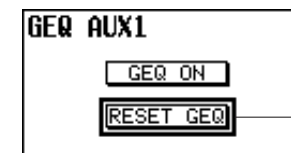
オフの場合 **GEQ ON**

#### NOTE

HOME画面に戻りたいときは、[PROGRAM]エンコーダーを操作してください。

## ■すべての周波数のゲインをリセットする

### 1. GEQ ON画面で[MENU/CONTROL]エンコーダーを回して、カーソルをRESET GEQボタンの上に移動します。



RESET GEQ ボタン

### 2. [MENU/CONTROL]エンコーダーを押すと、下記の確認画面がポップアップします。



### 3. [MENU/CONTROL]エンコーダーを回して、カーソルをOKボタンの上に移動します。[MENU/CONTROL]エンコーダーを押して確定すると、ゲインがリセットされます。(CANCELを選択した場合は実行がキャンセルされます。)



# 困ったときは？

販売店や修理ご相談センターにお問い合わせになる前に、下記をご確認ください。

症状が改善しない場合は、ヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ■ 電源が入らない                                 | <input type="checkbox"/> 付属の電源コードが電源コンセントに正しく接続されていますか？<br><input type="checkbox"/> [⏻](電源)スイッチをオフにし、接続を確認してください。数分後、[⏻](電源)スイッチをオンにしても本体が動作しない場合は、本体が故障している可能性があります。その場合は、ヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| ■ 突然、電源が切れた                               | <input type="checkbox"/> 両側面の通風孔をふさいでいませんか？<br><input type="checkbox"/> 本体内部が異常に高温になったため保護機能がはたらき、電源を停止した可能性があります。[⏻](電源)スイッチをオフにし、数分間放置してから[⏻](電源)スイッチをオンにしてください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| ■ AMPLIFIER [PROTECTION] インジケータが点滅または点灯する | <input type="checkbox"/> 点滅している場合は、該当チャンネルの[SPEAKERS]端子に接続されているスピーカーケーブルがショートしている可能性があります。[⏻](電源)スイッチをオフにして該当チャンネルのスピーカーケーブルを点検してください。<br><input type="checkbox"/> 点灯している場合は、アンプの発熱により出力がミュート状態となっています。アンプの熱が下がるまでしばらくお待ちください。復帰しない場合は[⏻](電源)スイッチをオフにして、数分間放置してから[⏻](電源)スイッチをオンにしてください。                                                                                                                                                                                                 |
| ■ 音が出ない                                   | <input type="checkbox"/> 外部機器(マイクを含む)やスピーカーは、正しく接続されていますか？<br><input type="checkbox"/> 各入力チャンネルの[LEVEL]コントロールやAUX1、AUX2、STEREOのMASTER [LEVEL]コントロールは、適切に調節されていますか？<br><input type="checkbox"/> チャンネル11/12でRCA端子とステレオミニ端子の両方に接続していませんか？両方接続した場合、ステレオミニ端子が優先されます。<br><input type="checkbox"/> スピーカーケーブルがショートしていませんか？                                                                                                                                                                      |
| ■ 音が小さい、音が歪む、雑音が入る                        | <input type="checkbox"/> 各入力チャンネルの[LEVEL]コントロールやAUX1、AUX2、STEREOのMASTER [LEVEL]コントロールは、適切に調節されていますか？<br><input type="checkbox"/> チャンネル1～4の[  MIC /  LINE]スイッチは適切に設定されていますか？<br><input type="checkbox"/> ミキサーに接続した機器からの入力信号レベルは適切ですか？<br><input type="checkbox"/> パッシブピックアップの楽器をチャンネル4に接続している場合は、[Hi-Z]スイッチをオンにしてください。 |
| ■ エフェクトがかからない                             | <input type="checkbox"/> 各チャンネルの[AUX2/FX]センドコントロールは、適切に調節されていますか？<br><input type="checkbox"/> FX RTN [FX ON]スイッチは、オンになっていますか？<br><input type="checkbox"/> FX RTN [LEVEL]コントロールは適切に調節されていますか？                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| ■ スピーカーからの音に迫力を出したい                       | <input type="checkbox"/> イコライザーコントロール[HIGH]/[MID]/[LOW]は、適切に調節されていますか？<br><input type="checkbox"/> GEQ(グラフィックイコライザー)は、適切に調節されていますか？<br><input type="checkbox"/> スピーカープロセッサ、ベースブーストは適切に設定されていますか？                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| ■ スピーチの声をはっきりさせたい                         | <input type="checkbox"/> イコライザーコントロール[HIGH]/[MID]/[LOW]は、適切に調節されていますか？<br><input type="checkbox"/> GEQ(グラフィックイコライザー)は、適切に調節されていますか？<br><input type="checkbox"/> [HPF]スイッチは、オンになっていますか？                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| ■ モニター用の信号を出力したい                          | <input type="checkbox"/> [AUX1 SEND]端子、[AUX2 SEND]端子にパワードスピーカー(=内蔵アンプあり)を接続してください。[AUX1 SEND]端子、[AUX2 SEND]端子の出力信号は、各チャンネルの[AUX1]センドコントロール、[AUX2/FX]センドコントロール、AUX1、AUX2のMASTER [LEVEL]コントロールで調節してください。<br><input type="checkbox"/> システムセットアップ画面のAMP MODEでL+R/AUX1を選択すると、リアパネルの[SPEAKERS B]端子からモニター信号(AUX1の信号)を出力できます。[SPEAKERS A]端子からは、STEREO L/Rのミックス信号が出力されます。                                                                                                                        |

## スピーカーの接続

[SPEAKERS A/B]端子から複数のスピーカーを平行接続する場合は、合成インピーダンスが $4\Omega$ を下回らないようにしてください。

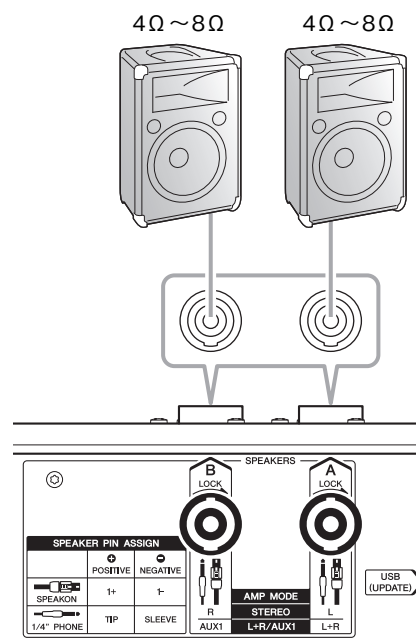
同一インピーダンスのスピーカーを平行接続した場合、合成インピーダンスは2本で半分、3本で3分の1、4本で4分の1となります。

### ⚠ 注意

- 各機器を接続するときは、必ず適切な規格のケーブルおよびプラグを使用してください。スピーカー端子とスピーカーの接続には、スピーカー接続専用のケーブルのみをお使いください。
- スピーカーケーブルは奥までしっかり差し込んでください。スピコンプラグの場合は、奥までしっかり差し込んでから回してロックしてください。
- スピーカーケーブルはコネクタのハンドル部(ハウジング)が絶縁されたものをお使いください。

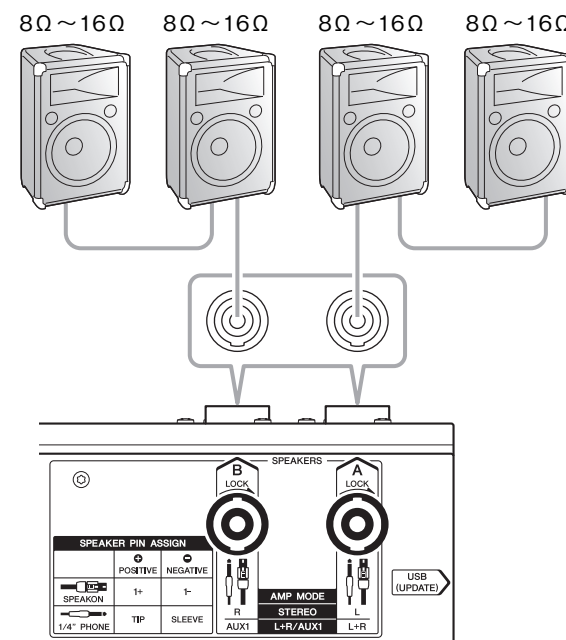
## ■2チャンネル接続

下記の出力をする場合は、インピーダンスが $4\Omega \sim 8\Omega$ のスピーカーを使用してください。



## ■2チャンネル平行接続

スピーカーを平行接続する場合は、インピーダンスが $8\Omega \sim 16\Omega$ のスピーカーを使用してください。

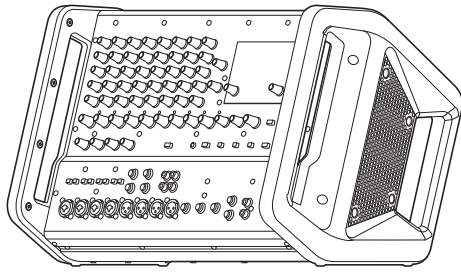


## 縦置き/平置き/設置

操作しやすい置き方に変えて使用できます。

### ■縦置き

作業台に置いて操作するときなどに便利な置き方です。

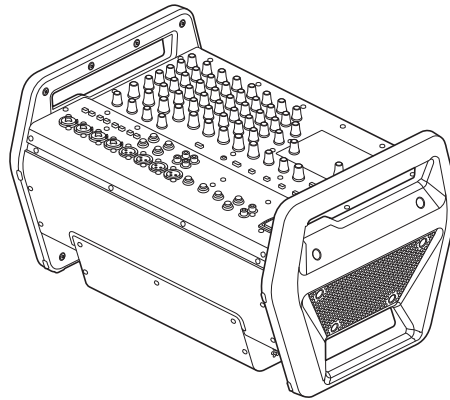


### ■平置き

本体を床に置いて、椅子に座ったまま操作するときなどに便利な置き方です。

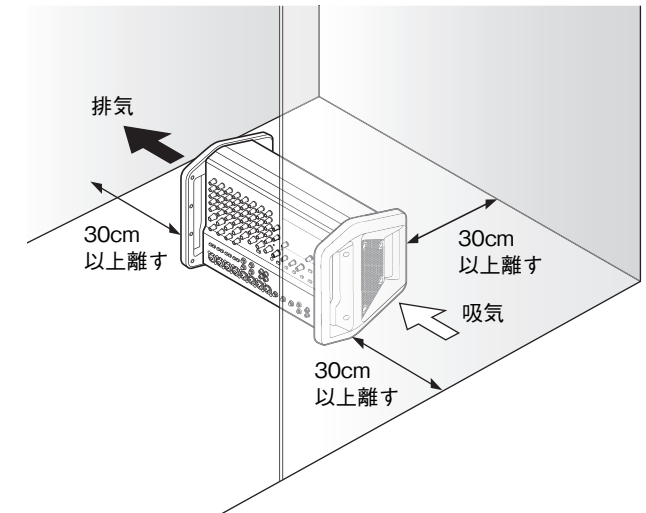
#### ⚠ 注意

勢いよく本体を傾けないでください。本体が回転して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



### ■設置

本体の側面には、通風孔があります。壁や物でふさがないように設置してください。



## ラックマウント

別売のRK-EMX7(ラックマウント金具)を使用して、EMX7本体をラックにマウントできます。本体をラックマウントする場合は、7U\*のスペースが必要です。

\*7Uは約312mmです。

### ⚠ 注意

本体は重量が重いので、ラックにマウントする際は、2人で作業することをおすすめします。

### ■ラックマウント時の注意

この機器が動作保証する室温は0～40℃です。この機器を他の機器と一緒にEIA標準のラックにマウントする場合、各機器からの熱でラック内の温度が上昇し、十分な性能を発揮できないことがあります。この機器に熱がこもらないように、必ず下記の条件でラックにマウントしてください。

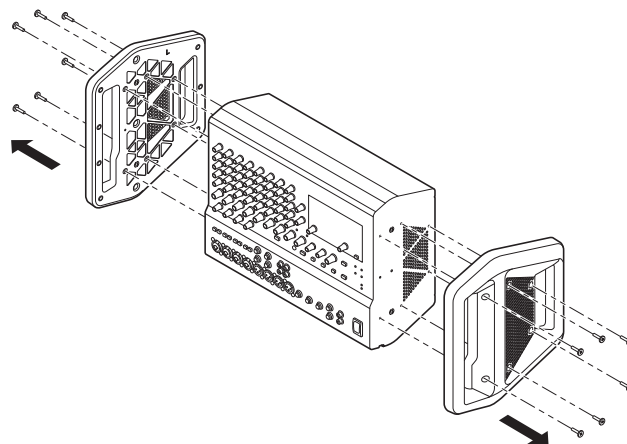
- パワーアンプなどの発熱しやすい機器と一緒にマウントする場合は、他の機器との間を1U以上空けてください。また、このスペースは通風パネルを取り付けたり、開放したりして、十分な通気を確保してください。
- ラックの背面を開放するなどして、十分な通気を確保してください。ラックのファンキットを取り付けた場合は、ラックの背面を閉じた方が放熱効果が大きくなることもあります。詳しくはラックおよびファンキットの取扱説明書をご覧ください。

### ■ラックマウント金具の取り付け方

1. 本体のサイドパッドに取り付けられているネジ(計12個)を、ドライバーでゆるめて取り外します。

#### 注記

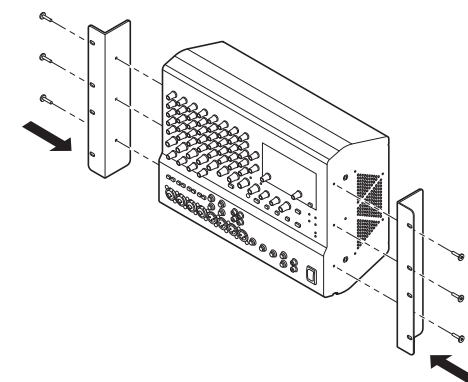
ラックマウント金具取り付け作業時に本体のネジで机などを傷つけるおそれがあります。作業時は、柔らかい布などを本体の下に敷いてください。



2. 別売のRK-EMX7(ラックマウント金具)を手順1で取り外したネジ(計6個)を使用して、しっかり固定されるまで締めつけます。

#### 注記

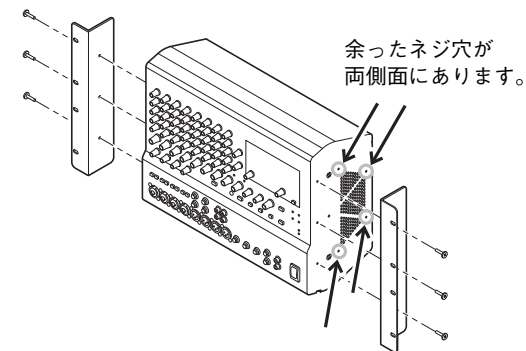
必ず本体から外した専用のネジを使用してください。それ以外のネジを使用すると故障の原因になります。



3. 手順2で使用しなかったネジ(計6個)は、紛失しないように大切に保管してください。ラックマウント金具を取り付けると、本体に余ったネジ穴が両側面(計8箇所)にできます。

#### NOTE

ラックに取り付けるためのネジは付属していません。



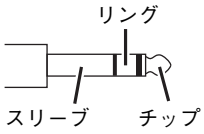
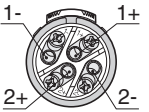
4. ラックマウント金具を外して、再度サイドパッドを取り付ける際は、左右を確認して取り付けてください。サイドパッドの内側に「L」(左)と「R」(右)の刻印があります。

## エフェクトプログラム一覧

| 番号 | プログラム        | パラメーター        | エフェクトの内容                                                                      |
|----|--------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | REV HALL 1   | Reverb Time   | コンサートホールなどの広い空間の響きをシミュレートしたリバーブ(残響音)です。                                       |
| 2  | REV HALL 2   | Reverb Time   |                                                                               |
| 3  | REV ROOM 1   | Reverb Time   | 小さな空間(部屋)での響きをシミュレートしたリバーブです。                                                 |
| 4  | REV ROOM 2   | Reverb Time   |                                                                               |
| 5  | REV STAGE 1  | Reverb Time   | 広いステージをシミュレートしたリバーブです。                                                        |
| 6  | REV STAGE 2  | Reverb Time   |                                                                               |
| 7  | REV PLATE    | Reverb Time   | 鉄板の響きをシミュレートしたリバーブです。硬めの残響感が得られます。                                            |
| 8  | DRUM AMB     | Reverb Time   | ドラムセットに適した短めのリバーブです。                                                          |
| 9  | EARLY REF    | Room Size     | 残響の初期反射音(ER)のみを取り出したエフェクトです。リバーブよりも派手な効果が得られます。                               |
| 10 | GATE REVERB  | Room Size     | 残響音を途中で遮断して得られるエフェクトです。                                                       |
| 11 | SINGLE DELAY | Delay Time    | 同じ音が1度だけ繰り返されるエフェクトです。ディレイタイムを短くするとダブリングの効果が得られます。                            |
| 12 | DELAY        | Delay Time    | 遅延させた信号を複数付加する、いわゆるフィードバックディレイです。                                             |
| 13 | VOCAL ECHO   | Delay Time    | ボーカル用途に最適なエコーです。                                                              |
| 14 | KARAOKE      | Delay Time    | カラオケに使用することを意識したエコーです。                                                        |
| 15 | PHASER       | LFO* Freq     | 音の位相を変化させて、音にうねりを加えます。                                                        |
| 16 | FLANGER      | LFO* Freq     | ジェット機の上昇下降音のような、うねりの効果を加えます。                                                  |
| 17 | CHORUS 1     | LFO* Freq     | 異なる遅延時間の音を複数加えて、音に厚みを加えます。                                                    |
| 18 | CHORUS 2     | LFO* Freq     |                                                                               |
| 19 | SYMPHONIC    | LFO* Depth    | 音を多重化することで厚みのある響きを加えます。                                                       |
| 20 | TREMOLO      | LFO* Freq     | 信号に揺れるような効果を加えます。                                                             |
| 21 | AUTO WAH     | LFO* Freq     | 周期的に変化するワウ効果を加えます。FX RTN [PARAMETER] コントロールで、ワウフィルターを制御するLFO*の周波数を調節できます。     |
| 22 | RADIO VOICE  | Cutoff Offset | 信号をAMラジオ風のローファイな感じにするエフェクトです。<br>FX RTN [PARAMETER] コントロールで、強調する周波数帯域を変更できます。 |
| 23 | DISTORTION   | Drive         | 音を歪ませた、いわゆるディストーションの効果を加えます。                                                  |
| 24 | PITCH CHANGE | Pitch         | 信号のピッチ(音程)を変化させた効果を加えます。                                                      |

\* LFO : Low Frequency Oscillator(低周波発振器)の略です。別の信号を周期的に変化(変調)させる場合に使います。

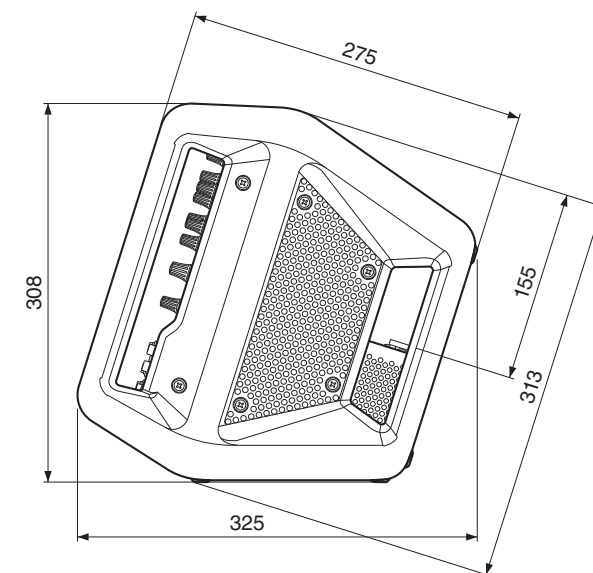
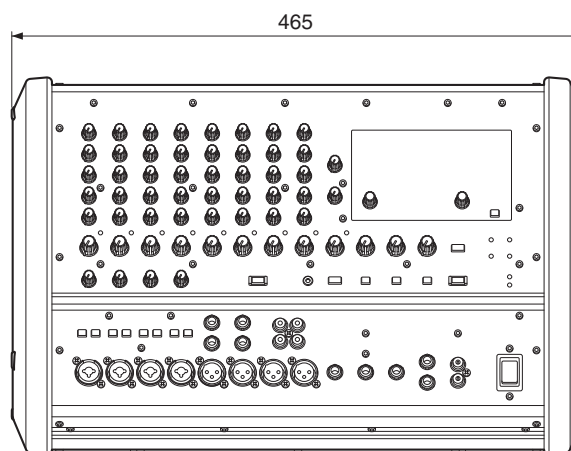
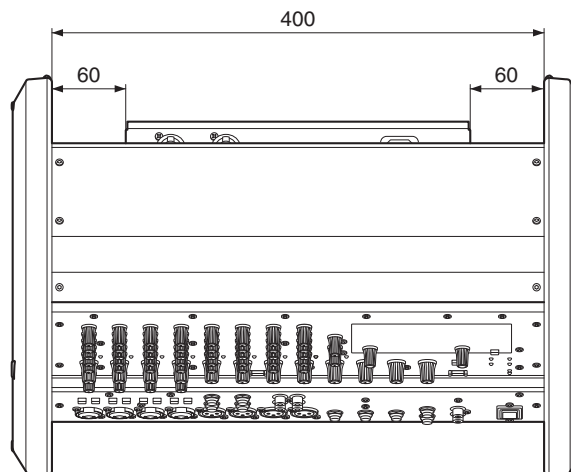
## 端子とプラグ一覧

| 入出力端子                                                                                                           | 端子の極性                                        | 端子/プラグの形状                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| MIC/LINE<br>(バランス)<br>MIC<br>(バランス)                                                                             | ピン1: グラウンド<br>ピン2: ホット (+)<br>ピン3: コールド (-)  | XLR端子<br>入力      |
| MIC/LINE*1<br>(バランス)                                                                                            | チップ: ホット (+)<br>リング: コールド (-)<br>スリーブ: グラウンド | TRS フォーンプラグ<br>  |
| AUX1 SEND*1<br>(インピーダンス<br>バランス*2)<br>AUX2 SEND*1<br>(インピーダンス<br>バランス*2)<br>STEREO OUT*1<br>(インピーダンス<br>バランス*2) | チップ: ホット (+)<br>リング: コールド (-)<br>スリーブ: グラウンド |                                                                                                   |
| LINE 5/6, 7/8<br>(アンバランス)<br>FOOT SW<br>(アンバランス)                                                                | チップ: シグナル<br>スリーブ: グラウンド                     |                                                                                                   |
| SPEAKERS A/B<br>(アンバランス)                                                                                        | チップ: ポジティブ<br>スリーブ: ネガティブ                    | TS フォーンプラグ<br> |
| SPEAKERS A/B                                                                                                    | 1+: ポジティブ<br>1 -: ネガティブ<br>2+:<br>2-:        | スピコンプラグ<br>    |

\*1 これらの入出力端子にTSフォーンで接続することもできます。その場合は、アンバランスになります。

\*2 ホットとコールドの出カインピーダンスを同じ値にしているため、バランス接続時に誘導ノイズの影響を受けにくくなります。

## 寸法図



単位: mm

## 一般仕様

|                    |           |                                                                                                                                                                 |
|--------------------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 最大出力 (1 kHz)       |           | THD+N<10% 710 W + 710 W (4 Ω)、500 W + 500 W (8 Ω)<br>THD+N<1% 600 W + 600 W (4 Ω)、400 W + 400 W (8 Ω)                                                           |
| 入力チャンネル            |           | 12チャンネル (最大8 MIC/12 LINE、4モノラル + 4ステレオ)<br>CH4 : Hi-Z入力対応                                                                                                       |
| 出力チャンネル            |           | SPEAKERS(A、B) : 1、AUX1 SEND : 1、AUX2 SEND : 1、STEREO OUT(L、R) : 1、REC OUT(L、R) : 1                                                                              |
| バス                 |           | ステレオ : 1<br>AUX : 2(FX含む)                                                                                                                                       |
| 入力チャンネル機能          | COMP      | 1つのコントロールでパラメーター (ゲイン、スレッショルド、レシオ)を同時に調節<br>スレッショルド : +22 dBu ~ -8 dBu、レシオ : 1:1 ~ 4:1、出力レベル : 0 dB ~ +7 dB<br>アタックタイム : 約25 ms、リリースタイム : 約300 ms               |
|                    | イコライザー    | HIGH : 10 kHz ±15 dB(シェルビング)<br>MID : 2.5 kHz ±15 dB(ピーキング)<br>LOW : 100 Hz ±15 dB(シェルビング)                                                                      |
| レベルメーター            |           | 2×12ポイント LEDメーター (-30、-25、-20、-15、-10、-6、-3、0、+3、+6、+10、PEAK)                                                                                                   |
| ファンタム電源            |           | +48 V                                                                                                                                                           |
| 内蔵エフェクト            | SPXアルゴリズム | 24プログラム                                                                                                                                                         |
| フットスイッチ端子          |           | エフェクトミュート オン/オフ                                                                                                                                                 |
| DSPプロセッシング         |           | フィードバックサプレッサー、グラフィックイコライザー、スピーカープロセッサー                                                                                                                          |
| 保護機能               |           | スピーカー保護 : DC-fault<br>アンプ保護 : Over heat protection、Over current protection、Integral power protection<br>電源ユニット保護 : Over heat protection、Over current protection |
| 電源電圧               |           | AC 100-240 V、50 Hz/60 Hz                                                                                                                                        |
| 消費電力               |           | 45 W (アイドル時) / 250 W (1/8出力時)                                                                                                                                   |
| 縦置き時の寸法 (幅×高さ×奥行き) |           | 465 mm × 308 mm × 325 mm                                                                                                                                        |
| 質量                 |           | 9.5 kg                                                                                                                                                          |
| オプション (別売) 品       |           | ラックマウント金具 : RK-EMX7、フットスイッチ : FC5                                                                                                                               |
| 動作環境温度             |           | 0 ~ +40℃                                                                                                                                                        |

その他の仕様については別紙の「Technical Specifications」をご覧ください。

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。



# 索引

## A

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| [AC IN]端子 .....                     | 14 |
| AMP MODE .....                      | 17 |
| AMPLIFIER [LIMIT] インジケータ .....      | 13 |
| AMPLIFIER [MODE] インジケータ .....       | 13 |
| AMPLIFIER [PROTECTION] インジケータ ..... | 13 |
| AUX1 MASTER [LEVEL] コントロール .....    | 13 |
| [AUX1 SEND] 端子 .....                | 13 |
| [AUX1] センドコントロール .....              | 12 |
| AUX2 MASTER [LEVEL] コントロール .....    | 13 |
| [AUX2 SEND] 端子 .....                | 13 |
| [AUX2/FX] センドコントロール .....           | 12 |
| Available Bands .....               | 19 |

## B

|                         |    |
|-------------------------|----|
| BACKLIGHT .....         | 18 |
| BASS BOOST ON ボタン ..... | 16 |

## C

|                     |        |
|---------------------|--------|
| [COMP] コントロール ..... | 10, 12 |
| CONTRAST .....      | 17     |

## D

|                      |    |
|----------------------|----|
| DI (ダイレクトボックス) ..... | 12 |
|----------------------|----|

## F

|                                                     |       |
|-----------------------------------------------------|-------|
| [FEEDBACK SUPPRESSOR]<br>(フィードバックサプレッサー) スイッチ ..... | 13    |
| Flex(フレックス)9GEQ .....                               | 7, 19 |
| FX RTN(エフェクトリターン)<br>[AUX1] センドコントロール .....         | 12    |
| FX RTN(エフェクトリターン)<br>[FOOT SW](フットスイッチ) 端子 .....    | 13    |
| FX RTN(エフェクトリターン)[FX ON] スイッチ .....                 | 13    |
| FX RTN(エフェクトリターン)[LEVEL] コントロール .....               | 13    |
| FX RTN(エフェクトリターン)<br>[PARAMETER] コントロール .....       | 12    |

## G

|                        |                |
|------------------------|----------------|
| [GEQ ACCESS] ボタン ..... | 13, 15, 19, 20 |
| GEQ EDIT 画面 .....      | 15, 19         |
| GEQ ON 画面 .....        | 15, 20         |
| GEQ ON ボタン .....       | 20             |

## H

|                             |        |
|-----------------------------|--------|
| [Hi-Z] スイッチ .....           | 8, 12  |
| HOME 画面 .....               | 11, 15 |
| [HPF](ハイパスフィルター) スイッチ ..... | 12     |

## L

|                      |    |
|----------------------|----|
| [LEVEL] コントロール ..... | 12 |
| [LINE] 入力端子 .....    | 12 |

## M

|                                                                                                                                                                                              |        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| [MENU/CONTROL] エンコーダー .....                                                                                                                                                                  | 13, 15 |
| MENU 画面 .....                                                                                                                                                                                | 15     |
| MENU ボタン .....                                                                                                                                                                               | 15     |
| [  MIC /  LINE] スイッチ ..... | 9, 12  |
| [MIC/LINE] 入力端子 .....                                                                                                                                                                        | 12     |
| [MIC] 入力端子 .....                                                                                                                                                                             | 12     |

## P

|                           |        |
|---------------------------|--------|
| [PHANTOM +48V] スイッチ ..... | 12     |
| [PROGRAM] エンコーダー .....    | 13, 15 |

## R

|                     |    |
|---------------------|----|
| [REC OUT] 端子 .....  | 13 |
| RESET GEQ ボタン ..... | 20 |

## S

|                                    |        |
|------------------------------------|--------|
| SPEAKER PROCESSOR 画面 .....         | 16     |
| [SPEAKERS A/B] 端子 .....            | 14     |
| [SPEAKERS A] 端子 .....              | 14     |
| [SPEAKERS B] 端子 .....              | 14     |
| [STANDBY] スイッチ .....               | 13     |
| STEREO MASTER [LEVEL] コントロール ..... | 13     |
| [STEREO OUT] 端子 .....              | 9, 13  |
| SYSTEM SETUP 画面 .....              | 17, 18 |

## U

|                |    |
|----------------|----|
| [USB] 端子 ..... | 14 |
|----------------|----|

## X

|           |    |
|-----------|----|
| XLR ..... | 26 |
|-----------|----|

## ア

|              |        |
|--------------|--------|
| アンプモード ..... | 14, 17 |
|--------------|--------|

## イ

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| イコライザーコントロール[HIGH]/[MID]/[LOW] ..... | 12 |
|--------------------------------------|----|

## エ

|                     |    |
|---------------------|----|
| エフェクトプログラムリスト ..... | 13 |
|---------------------|----|

## ケ

|           |        |
|-----------|--------|
| ゲイン ..... | 19, 20 |
|-----------|--------|

## コ

|               |    |
|---------------|----|
| コンプレッサー ..... | 12 |
|---------------|----|

## シ

|                    |            |
|--------------------|------------|
| シグナルインジケータ .....   | 12         |
| システムセットアップ画面 ..... | 15, 17, 18 |
| 周波数 .....          | 19, 20     |

## ス

|                    |        |
|--------------------|--------|
| スピーカープロセッサ画面 ..... | 15, 16 |
| スピコン .....         | 14, 26 |

## ツ

|           |        |
|-----------|--------|
| 通風孔 ..... | 13, 23 |
|-----------|--------|

## テ

|                                                                                                        |        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| ディスプレイ .....                                                                                           | 13     |
| [  ](電源) スイッチ ..... | 13, 15 |

## ハ

|              |    |
|--------------|----|
| ハウリング .....  | 13 |
| パラレル接続 ..... | 22 |

## フ

|           |    |
|-----------|----|
| フーン ..... | 26 |
|-----------|----|

## ミ

|                              |       |
|------------------------------|-------|
| ミキサーアクセサリ<br>ラックマウント金具 ..... | 7, 24 |
|------------------------------|-------|

## ラ

|                 |       |
|-----------------|-------|
| ラックマウント金具 ..... | 7, 24 |
|-----------------|-------|

## レ

|                      |    |
|----------------------|----|
| レベルメータ .....         | 13 |
| レベルメータ切り替えスイッチ ..... | 13 |

# アフターサービス

## お問い合わせ窓口

お問い合わせや修理のご依頼は、お買い上げ店、または次のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

### ●機能や取り扱いに関するお問い合わせ

#### ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター



# 0570-050-808

※ 固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。  
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **03-5488-5447**

受付時間 月曜日～金曜日 11:00～17:00 (土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

オンラインサポート <https://jp.yamaha.com/support/>

### ●修理に関するお問い合わせ

#### ヤマハ修理ご相談センター



# 0570-012-808

※ 固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。  
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **053-460-4830**

FAX **03-5762-2125** 東日本 (北海道/東北/関東/甲信越/東海)  
**06-6649-9340** 西日本 (北陸/近畿/四国/中国/九州/沖縄)

#### 修理品お持込み窓口

東日本サービスセンター 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 JMT京浜E棟A-5F  
FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター 〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中1丁目13-17 ナンバ辻ビル7F  
FAX 06-6649-9340

#### 受付時間

月曜日～金曜日 10:00～17:00 (土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

### ●販売元

(株)ヤマハミュージックジャパン PA営業部

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41-12 KDX箱崎ビル

## 保証と修理について

保証と修理についての詳細は下記のとおりです。

### ●保証書

本書に保証書が掲載されています。購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

### ●保証期間と期間中の修理

保証書をご覧ください。保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。お客様に製品を持ち込んでいただくか、サービスマンが出張修理に伺いするのは、製品ごとに定められています。

### ●保証期間経過後の修理

ご要望により有料にて修理させていただきます。使用時間や使用環境などで劣化する下記の有寿命部品などは、消耗劣化に応じて交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

#### 有寿命部品

フェーダー、ボリューム、スイッチ、接続端子など

### ●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

### ●修理のご依頼

本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

### ●損害に対する責任

本製品(搭載プログラムを含む)のご使用により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

持込修理

# 保証書

|         |          |             |  |
|---------|----------|-------------|--|
| 品 名     | パワードミキサー |             |  |
| 品 番     | EMX7     |             |  |
| ※シリアル番号 |          |             |  |
| 保 証 期 間 | 本 体      | お買上げの日から1年間 |  |
| ※お買上げ日  | 年 月 日    |             |  |
| お 客 様   | □□□-□□□□ |             |  |
|         | ご住所      |             |  |
|         | お名前 様    |             |  |
|         | 電 話 ( )  |             |  |

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入ください。

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。  
お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示  
の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。  
ご依頼の際は、購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書  
など)をあわせてご提示ください。

(詳細は下項をご覧ください)

|                  |     |   |
|------------------|-----|---|
| ※<br>販<br>売<br>店 | 店 名 | 印 |
|                  | 所在地 |   |
|                  | 電 話 |   |
|                  | ( ) |   |

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA営業部  
〒103-0015  
東京都中央区日本橋箱崎町41番12号 KDX箱崎ビル  
TEL. 03-5652-3850

## 保証規定

- 保証期間中、正常な使用状態(取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合には、無償修理を致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
- ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
  - 本書のご提示がない場合。
  - 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
  - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
  - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
  - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
  - お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。

- この保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。

- ※ この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
- ※ ご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの個人情報は、本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用致します。取得した個人情報適切に管理し、法令に定める場合を除き、お客様の同意なく第三者に提供することはありません。
- ※ その他の連絡窓口につきましては、本取扱説明書をご参照ください。



**ヤマハ株式会社**

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト  
<http://www.yamahaproaudio.com/>  
ヤマハダウンロード  
<https://download.yamaha.com/>

Manual Development Group  
© 2016 Yamaha Corporation  
2021年8月 発行  
POEM-D0

**VFH2060**